

(上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
① 施設名称	元府議会議員公舎(旧富岡鉄斎邸)	
②施設の延床面積	600.86㎡	
③建物の構成(構造、階数)	本館(木造瓦葺2階) 別館(木造2階) 管理棟(木造瓦葺2階) 倉庫(鉄筋コンクリート3階)	
④ 主な施設の内容、導入機能	元公舎(宿泊施設)	
⑤運営状況 (運営主体、事業手法等)	府が維持管理	
⑥その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	最後の文人画家と呼ばれる富岡鉄斎が晩年を過ごした居宅	
5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
①施設名称		
②規模、能力 等		
③運営状況 (運営主体、事業手法等)		
④その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
6. 事業環境		
①人口、高齢化率	85,043人(上京区人口)	

②対象地周辺の人口構成	20歳～24歳が最も多く、約10%を占める。 詳細上京区HP http://www.city.kyoto.lg.jp/kamigyō/page/0000097204.html
③市民意見等	修学旅行生が多く、歴史や京都が好きな方の穴場 公共交通機関、特に地下鉄利用者が多い。
7. 事業関連	
① 現状及び課題	元府議会議員公舎(旧富岡鉄斎邸)は、「最後の文人画家」と呼ばれた明治、大正期の儒学者の富岡鉄斎の居宅であり、煎茶小川流宗家ゆかりの煎茶室や富岡鉄斎が1万点以上の作品を制作した画室がある建物である。 しかし、現在は、公開しておらず加えて、建物としての耐震不足も危惧されている。また、現在も建物として文化財的価値があるのかが不明確であり、今後こういった利活用を行っていくのかは未定
② 目的、考え方・基本方針	幅広い分野の事業者の方の意見をお伺いし、今後の利活用を検討予定
③ 前提条件	
④事業スケジュール(案)	
8. 対話内容 ※意見・提案を求める内容をご記入ください。	導入機能、事業スキーム、本事業への関心について幅広い分野や地域の方々の多様な意見を求める。京都府の想定しているイメージは以下のいずれかでの活用を想定している。 ① 元議会議員公舎のみの土地及び建物(全部又は一部)の文化財的価値を活かした活用 ② 元議会議員公舎のみの土地及び建物を更地にし、新しい建物等を建築した上での活用 ③ 京都府公館・京都府計量検定所を含めた活用 *京都府公館に関しては、建替ではなく、建物機能を活かした活用とする。
9. 対話を希望する業種 ※該当する番号に○(複数可) 注)希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません。	1.設計 2.建設 3.ビル管理 4.金融 5.保険 6.不動産 7.運営 ⑧その他(幅広い業種の事業者様との対話を希望しています。)

- 添付資料
- ・周辺地図
 - ・物件概要書